



下宅部遺跡は、縄文時代から中世にかけての生活をしたことのできる水辺の遺跡です。その一部(3000㎡)を埋没保存して新しく生まれ変わったのが「はっけんのもり」遺跡公園です。

この下宅部遺跡「はっけんのもり」が、昨年、都市公園法施行50周年等記念事業実行委員会より「日本歴史公園100選」に選定されました。

函館の五稜郭や水戸の偕楽園、日比谷公園、上野恩賜公園、金沢の兼六公園等と肩を並べて選ばれたのですから驚いた人も多いでしょう。

おそらく全国でもまれな市民参加による遺跡公園づくりの活動とその後の経過が評価されたものでしょう。ボランティア(下宅部はっけんのもりを育てる会)の人たちが知恵と力を出し合って成長する公園に育てようと活動しています。

昨年の「東京都文化財ウィーク」の活動では都知事賞を受賞しました。公園内には復元河道(湧水路・通路)や復元池状遺構があり、出土品から推定された縄文の森や体験学習ひろば・体験学習河原等があります。これらを使ってイベントの時には野焼きをはじめ様々な体験ができるのです。

5月19日(土)には、はっけんのもり「3歳のお誕生会」が盛大に開かれました。シンボルの栗の木や縄文の森の木はまだ小さいですが、「育てる会」の人たちが草取りをしたり市内の小・中学生が木に名札をつけたりして可愛がって育てています。数年後にはいいの場ともなることでしょう。

化館ふ立に人ハンたに章ンム赤て解場
財発このちその人ハガ名をのの(ユニシヤン
マ行さのまその群目イガ名をのの姿ニフオー
ツのと日は姿れをのアドをのの腕に
「歴史は、目引きのボ下胸腕
「文史、目引きのボ下胸腕

はっけんのもり「日本歴史公園100選」に

ガイドボランティア定着化

菖蒲まつりに延べ54人

来園者7万8千人、ボランティア78人、ガイドボランティア11名、18日、11日、アドまつり、まは6月10日、ドボランティ

たといは10万人を超えたか、ガイドボランティアの人数は、菖蒲園の他に正福寺千体地蔵堂と徳蔵寺、説明や案内をしました。雨の日もありましたがガイドの人達は、写真パネルや自分で用意したブレットなどがざらに見せながら、熱心に声を張り上げて解説していました。菖蒲まつりでは18名の

ガイドボランティアが発足して4年目を迎えました。昨年新しく入った人も含めて現在登録者は22名です。昨年は「菖蒲まつり」と「地蔵まつり」、「歴史散策」に活躍しました。経験を積み、ますますの活躍が期待されます。



ガイドボランティアが活躍しました。4日間欠かさず出て説明していた人も何人かいます。延べ人数で数えると54名のほりまです。ガイドに生き甲斐を感じ、解説

地蔵まつり

11月3日は正福寺の千体地蔵堂で毎年地蔵まつりが行われます。昨年は、ちょうどテレビで紹介された後だったのたいへんな人出でした。この日は11人のガイドが活躍しました。正福寺千体地蔵堂内部のマイクでの解説が4回、浦安の舞の解説が2回、その他個々に適当な場所

を工夫する人もいます。昨年は盛り上がり、歴史とロマンの会、会長や副会長など役員の方も案内場のテントの中で手伝う姿が見られました。



毎年恒例の「歴史とロマンの会歴史散策」が11月19日(日)に行われま

歴史散策



も売られ、そのお手伝いもしていましたが飛ぶように売れてました。3年目ともなるとガイドも慣れてきて完全に定着した感があります。

会費納入のお願い

平成19年度の会費納入をお願いいたします。最寄りの(関係の)役員さんにお渡ししたいだけあればあります。ご不便な場合は、お尋ねください。電話 396-3800

狭山丘陵の紅葉の美しい季節でしたが、例年西武鉄道・豊島屋酒蔵のハイキングと重なり参加者が限られます。しかし、郷土食を味わう会と兼ねているのでたいへん評判がよく、役員も多く参加し、にぎやかでなごやかな一日となりました。参加者をグループに分け、6名のガイドがそれぞれ4、5名ずつ担当し、間隔を置いて出発。それぞれに説明をしたり、質問に答えていました。ポイントごとの解説は事前によく学習して来たこととみえ、工夫した中味のある解説がなされています。諏訪神社社務所の郷土食(うどんの昼食)は、さすが会長・副会長をはじめ、土地の人や郷土食専門の人たちがつくったうどんだけにたいへんな評判でした。「歴史散策」と「郷土食」の組み合わせは、今後も欠かせないものとなるでしょう。